

トピックス

スマホで収集日などを確認できます

「伊賀市ごみ分別アプリ」配信中

ごみ分別アプリを活用しよう

お住まいの地区のごみ収集日、分別区分や出し方などをスマートフォンから簡単に確認できる無料アプリ「伊賀市ごみ分別アプリ」を配信しています。

配信を始めてから4月末時点でダウンロード数が7,500件を超えました。

市内すべての収集地区に対応していますので、ぜひ活用ください。

ダウンロード方法

お手持ちのスマートフォンなどから「App Store」または「Google Play」で「伊賀市ごみ分別アプリ」と検索するか、左記の2次元コードを読み取ってダウンロードしてください。

アプリの利用は無料ですが、通信料は利用者の負担となります。



アイコン画像

アプリダウンロード用2次元コード

App Store (iPhone)



Google Play (Android)



ごみ分別アプリの主な機能

- ごみ収集カレンダー：週ごと、月ごとのごみの収集日を確認できます。
- ごみ分別辞典：ごみの分別区分と出し方を品目ごとに50音や文字入力で検索できます。
- ごみの出し方：分別種別ごとに、主な品目と出し方を確認できます。

初期設定

アプリをダウンロード後、お住まいの地区を選択してください。



※あとで「MENU>設定」から再設定できます。



ホーム画面



ごみ分別辞典画面



ごみの出し方画面



【問い合わせ】 廃棄物対策課
20・10050 FAX 20・22115
mailto:hakibutsu@city.iga.lg.jp

トピックス

4R運動を心がけましょう

よんあーる

市では、ごみの減量・リサイクルを進めるため「4R運動」を推進しています。

「4R運動」とは、次の英単語の頭文字（R）をとった運動で、日常生活の中で4つのRを実行し、ごみを減らす取り組みのことです。

Refuse (リフューズ)：断る
ごみになるものは事前に断りましょう。

(例) 買い物ときはマイバック（袋やかごなど）を持参し、レジ袋や過剰包装は断る。
弁当の割りばしやスプーンを断り、マイはしを利用する。

Reduce (リデュース)：減らす
将来ごみになりそうなものは、買
う量・使う量を減らしましょう。

(例) 洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を利用する。
生鮮食品などは、余らないように適量を購入し、買い物は必要だけ購入する。

Reuse (リユース)：繰り返し使う
修理をしたり繰り返し使用して、

ものの寿命を最大限生かしましょう。
(例) 家具や家電製品などを修理して長く使う。
リサイクルショップ、フリーマーケット、バザーを活用する。

Recycle (リサイクル)：資源として再生利用する
リユースできず、どうしても不要物（ごみ）になる場合は、資源として活用できるように正しく分別しましょう。

(例) 資源物は、分別のルールに従って、それぞれ所定の収集日に出す。
再生資源を利用した物や土にかえる素材を使ったものなど、環境にやさしい商品を選ぶ。

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが必要です。自分の生活を振り返ったときに、必要以上のものを買ったり、まだ使えそうなものを捨てたりしていませんか。
ごみを減らし、リサイクルを進めるために「4R運動」を取り入れて、環境にやさしい、無駄のない暮らしをめざしましょう。



【問い合わせ】 廃棄物対策課
☎ 20・10500 FAX 20・22775
✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp

トピックス

応急診療所ののご案内

応急診療所は、休日、夜間の急病時に対応するための診療所として関係者、関係機関の協力により運営されています。応急処置を行うところですので、何日も前から同じ症状が出ている場合は、必ずかかりつけ医療機関で、平日の診療時間内に受診してください。

【所在地】 上野桑町1615
☎ 22・9990

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日	祝・休日
9:00～12:00							●	●
14:00～17:00							●	●
20:00～23:00	●	●	●	●	●	●	●	●

※受付は、診療終了時刻の30分前までです。
※診療科目：一般診療・小児科

【持ち物】

- 健康保険証（75歳以上の人は後期高齢者医療被保険者証）
- ※保険証がない場合は、診療代金が全額自費となります。
- 健康保険高年齢受給者証（70～74歳の人のみ）
- 福祉医療費受給者証（子ども・一人親・障がい）
- お薬手帳
- 診療代金

※休日・夜間のため割り増し加算されます。
※クレジットカードでの支払いはできません。

【注意ください】

- 薬の調剤は院外処方、処方原則1日分です。ただし、連休・年末年始は除きます。
- 点滴やレントゲン検査などの医療機器は備えていません。
- 耳鼻科・歯科などは救急医療情報センター・コールセンター（☎ 059・226・1196）にお問い合わせください。



【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 22・9705 FAX 22・9673
✉ iyoutukushi@city.iga.lg.jp